

新規・継続等	新規	分野	主要な道路の整備			事業番号	38	事業名	道路改築(地方道)					
市町村名	佐久穂町		箇所名	(主)川上佐久線 穂積～海瀬			事業年度	(完了年度は見込み)		年度～	年度			
事業概要	計画概要 <small>(延長・幅員・面積・工種など)</small>	道路築造工 L=4.1km W=6.0(10.0)m						H22年度末事業進捗率	0%					
	H23年度以降実施内容	同上						本工事費等ベース	0%					
	H23年度実施内容							用地補償費ベース	0%					
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降残				
	事業費計(千円)	4,000,000		0		0		0		4,000,000				
財源内訳	国庫支出金	2,200,000		0		0		0		2,200,000				
	その他													
	県債													
	一般財源	1,800,000		0		0		0		1,800,000				
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部		政策評価課			
									ランク	評点	ランク	評点		
	必要性 (25)	計画交通量	10,000台/日以上			1,500台以上～10,000台/日未満		1,500台未満		B	2	B	2	
		代替道路	唯一の道路である			代替となる道路がある					0		0	
		ネットワーク (道路網)	駅やインターチェンジが20km以内にある			駅やインターチェンジが20km以上にある		駅やインターチェンジに通じる路線でない			5		5	
			通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である			山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する		山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない			2		2	
		観光地に通じる道路			観光地に通じる道路ではない				0		0			
		各事業特有の必要性(安全の確保)			5.5m未満又は6.0m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)		5.5m以上6.5m未満(幅員)		6.5m以上(幅員)		4		4	
					歩道未整備区間に歩道を設置		歩道はあるが不十分であるものを再整備		歩道整備無し		4		4	
	小計							17	17					
	重要性 (15)	関連計画との整合	県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)			県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)		該当なし		B	6	B	6	
		設計上の環境配慮	環境配慮がされ現実性が高い			環境配慮がされているが現実性が低い		環境配慮をしていない		4	4			
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている			緊急輸送路(2次)又は、奥産、雪害、過疎に位置付けられている		特別な位置づけはない		0	0			
		小計							10	10				
	効率性 (15)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上			B/C 1.0～1.5未満		B/C 1.0未満		B	4	B	4	
		事業効果の早期発現 (H23以降残事業年数)	事業年数 5年未満			事業年数 5年～10年未満		事業年数 10年以上		3	3			
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。			部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		コスト縮減はしていない		4	4			
	小計							11	11					
	緊急性 (25)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる			交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		交通事故や落石等の危険がない		A	9	A	9	
		各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全)(医療・福祉・教育)	渋滞箇所が緩和する			渋滞箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する		渋滞対策ではない		4	4			
			医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)			医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		医療・福祉の連携に関係ない道路		9	9			
	小計							22	22					
	計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い			市町村からの要望		特に要望がない		B	6	B	6	
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知			関係者中心に周知		特に周知していない		3	3			
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加			住民や市町村の意見を計画策定に反映		特に住民意見は反映していない		4	4			
小計							13	13						
費用対効果(B/C)		1.28			評価の合計				B	73	B	73		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的背景	当路線は、南佐久郡川上村から佐久市へ至る補助幹線道路であるが、南佐久郡を南北に貫き、国道141号を補完する重要な主要地方道である。しかしながら、人家が連担している集落内の幅員は5.5m以下の部分が多く、大型車の通行が困難な上、歩道が整備されておらず、通学児童の登下校に際しても非常に危険な状況である。												
	地域からの要望経緯	佐久穂町では、平成27年度統合小中学校の開校を目指して説明会を開催しており、その説明会において保護者より安全な通学路の完備が強く望まれている。統合される八千穂中学校からは、他に千曲川東側の道路がないため、本路線を通学路とするしかなく、当路線の整備が強く求められている。												
	事業説明等の経緯	平成20年に南佐久郡町村に対して、路線整備の考え方について同意を得た。平成22年度にはルート案について地元協議会の了解を得た。												
	環境・景観への配慮項目	鉄道敷地に近接させ改変面積を抑えるなどの配慮を計画している。環境配慮制度対象箇所												
	他事業・プロジェクトとの関連	長野県中期総合計画(調査検討)に位置付けられている。また、佐久穂町で策定予定の佐久穂町都市計画マスタープランにも位置付けられる予定。												
特記事項	特になし。													
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他					
部意見	緊急性の評価レベルは高い。今後計画熟度を高め、事業化を検討したい。					政策評価課見		緊急性は認められる。						